

令和7年度　事務事業評価一覧

No.	所管課名	事務事業名	事務事業の目的	令和7年度の主な取組	支出合計 (千円)	指標名（単位）	目標値	実績値	中長期的方向性
1	上下水道課	水道事業負担金	地方公営企業は、経費の負担の原則により、その性質上、地方公営企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費については、一般会計等において負担するとされている。一般会計負担が適切な経費に対する負担金を支出することで、負担区分の適正化を図る。	水道料金減免(令和7年9月検針分から令和8年2月検針分まで：基本料金、令和8年3月検針分：上限1万円まで)実施に関する経費及びeL-QR収納に向けたシステム改修に係る経費について負担金を支払った。	300,829				継続
2	上下水道課	水道事業管理等事務	生活用水、その他の浄水を市民に供給するため、安全・安心、かつ、安定した水道水の供給体制の確立を目指し、計画的・効率的な事業経営に取り組む。 また、水道事業の健全運営に資するため、事業経営の基礎となる水道料金を適正に収納する。	水道事業の予算編成、決算処理及び執行管理を実施し、適正な会計処理を行うことにより、経営の安定を図った。 収納率の向上及び滞納金額の減少を図るため、口座振替推進キャンペーンの実施や口座振替手続の負担を軽減するサービスを導入した。 物価高騰対策として、令和7年9月検針分から令和8年2月検針分までは水道料金のうち基本料金、令和8年3月検針分は上限1万円までの水道料金を減免した。	867,405	当年度純利益(純損失)額(千円)	259,381	484,414	継続
						経常収支比率(%)	100	131.62	
						料金回収率(%)	100	98	
3	上下水道課	浄水施設管理・改修事業	水源・浄水場の適切な運転・維持管理及び水質の管理を行い、市民に安全な水道水を安定供給することを目的とする。	①福岡・大井浄水場及び取水施設において、安心して利用できるよう、運転管理を行うとともに、計装機器や非常用発電機の点検、整備、修繕等を行った。 ②水質検査計画に基づき各浄水場及び水源の他、市内4施設で水質検査を行った。 ③福岡第1配水池耐震補強工事に着手し、令和4年度から令和7年度にかけて工事を実施している。令和7年度は配水池の上部にあたる建築建屋に対して屋上防水塗装や外壁の維持補修工事を完了させた。	1,015,087	井戸の更新(新設)箇所数(箇所)	7	7	継続
						施設月例点検(回)	24	24	
						施設年次総合機能点検(回)	2	2	
4	上下水道課	水道管路施設管理・更新事業	老朽管(石綿セメント管)を耐震性に優れた管に布設替え(更新)を行うことで、漏水を減らし震災に備えるとともに既設管の維持管理を行うことにより、安全な水道水の安定供給を図ることを目的とする。	老朽管(石綿セメント管)を耐震性・耐久性のあるダクトイル・鋳鉄管等に約1.2km更新し、石綿セメント管の残存率が0.0%となった。	415,076	老朽管(石綿セメント管)更新進捗率(%)	100	100	継続
						石綿セメント管の残延長(km)	0	0	
						重要給水施設配水管更新事業(更新延長)(km)	0	0	